



# 地域連携だより



## 第4回善通寺市

### 在宅医療・介護連携研修会

11月15日、善通寺市総合会館にて、第4回目の在宅医療・介護連携研修会を開催しました。今回は、研修会開催以来、初めての日中開催となり、36名の参加者にお集まりいただきました。医師会、歯科医師会、薬剤師会、各介護事業所の皆様、ご参加ありがとうございました。

会の初めは、香川県健康福祉部長寿社会対策課 小塚武司氏より「在宅医療・介護連携について」のテーマでご講義いただきました。内容は、地域包括ケアシステム構築における在宅医療・介護連携推進事業の位置づけや県内市町、香川県の取り組み状況についてお話いただいた後に、善通寺市と人口や高齢化率の近い岡山県高梁市の先進的な取り組みについて紹介していただきました。

その後のグループワークでは、①講義を受けて感じたこと、②在宅医療・介護連携で自分ができること・やるべきことの2点について意見交換をしました。

小塚さんのご講義



#### ＜参加者から出たご意見＞

- やっぱり情報共有！
- \*同じ人を支援するにしても職種ごとに視点が違うため、研修会等に参加して職種間で理解を深めたい。
- \*担当者会議を情報共有・関係作りの場として、しっかり有効活用していきたい。
- \*自分自身が関係者に分かりやすく情報提供できているか、知りたい内容を依頼できているか振り返り、スキルアップしたい。
- 専門性を活かした支援
- \*薬の飲み忘れ、多剤服用などで困った時に薬剤師を活用してもらいたい。
- \*誤嚥性肺炎の予防など摂食嚥下領域の相談は、歯科・歯科衛生士まで。

グループワークで活発な意見がたくさん出ました



# 机上防災訓練を実施！

11月29日、善通寺市総合会館にて『善通寺市の防災について』のテーマで、介護支援専門員連絡会・指定介護予防事業所担当者会が開催され、31名が出席されました。

「今年の漢字」で選ばれた『災』という字が表すように、平成30年は、7月豪雨、北海道胆振東部地震（最大震度7）などこれまでに経験したことのないほど大きな災害に次々と見舞われ、多くの方がその犠牲となったことは記憶に新しいと思います。また、近年の異常気象により今年の夏は想像を超える暑さとなり、多くの方が熱中症で命を落とされました。そのような想定外の災害が日本各地で頻発するなか、幸いにも善通寺市はそれほど大きな災害を経験することなく今日まで至っています。そのため住民の防災への意識は他の地域と比べると高くなく、万が一の対応が十分に検討されていないのが現状です。

そこで今回、事例を使って、善通寺市が地震や台風で被災した場合、事業所としてどのような方針を取ることにしているのか、また専門職として自分ができることは何かを話し合いました。参加者全員がケースの状況を確認し、ハザードマップと見比べながら、どのような経路で避難すべきか実際に被災した場合を考え、それぞれの立場で活発に意見を出し合いました。



どっちの避難所に行くのが近いか

ヘルパーが車で一緒に避難するようになるのだろうか…  
道路の状況次第で車が通れない場合もありそう…

日頃から助けてもらえる近所の人とつながっておくことが大事だなあ…

## <グループワークで話し合ったこと>

### ●事業所の現状

\*災害時対応マニュアルをすでに作成している所とこれからの所がある。ただ、作成している所も発災時それをちゃんと活用できるかには不安がある。

\*台風で警報が出た際には、基本的にはサービスは利用中止となるが、個別の理由により臨機応変に対応している。

### ●事前準備が大事！

\*被災前に持ち出す荷物（内服薬・医療処置に必要なもの）とその置き場所、主治医や本人家族・関係機関の連絡先、避難ルートについて事前に本人・家族、担当者で話し合っておく。

\*発災後 SNS や災害用伝言ダイヤルサービス171をすぐに活用できるように、使い方の確認をしておく。

\*自分の施設にどれくらい備蓄があるか確認しておく。

\*担当ケアマネは情報のとりまとめ役。

被災した場合のことを担当者会議の機会を使って事前に関係者で話し合っておく必要があると思った



善通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）

TEL (0877)63-6364 FAX (0877)63-3778

Mail houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp

次回の在宅医療・介護連携研修会は平成31年3月開催予定です。平成最後の研修会となりますので、皆様どうぞご参加をよろしくお願いいたします。